

2 月ワークショップと今後の予定について

1. 第 32 回ニッセイ財団 環境問題助成研究ワークショップについて

名称：地域から創る社会イノベーションと持続可能な社会(SDGs)

日時：2018 年 2 月 4 日（日）13:00～17:30

会場：早稲田大学・大隈記念講堂小講堂

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus> (キャンパス地図)

https://www.waseda.jp/culture/facility/auditorium_s/ (施設概要)

主催：早稲田大学レジリエンス研究所・都市環境イノベーション研究会、日本生命財団

共催・後援：所属機関、官公庁やマスコミなどで検討

人数：200 名程度を予定（キャンパスは 300 席）

プログラム第 1 次案:

全体 MC：〇〇

13:00～13:10	開会挨拶（ニッセイ財団〇〇）
13:10～13:30	基調講演「持続可能な地方社会の創り方: 地方都市と社会イノベーション」 (研究会代表・早稲田大学 松岡俊二)
13:30～14:50	第 I 部『社会的受容性と協働ガバナンス』がうみだす社会イノベーション」 コーディネーター：田中勝也 (13:30～13:55) 報告 1: 松本礼史「社会的受容性と協働ガバナンス」 (13:55～14:20) 報告 2: 勝田正文・師岡慎一・渡邊敏康「技術イノベーションと技術的受容性」 (14:20～14:30) 討論者 1: 白井信雄（法政大学） (14:30～14:40) 討論者 2: 田崎智宏（国立環境研究所） (14:40～14:50) 討論者 3: 大手信人（京都大学）
14:50～15:10	休憩
15:10～16:40	第 II 部「3 都市の社会イノベーションと今後の展開」 コーディネーター：〇〇 (15:10～15:30) 報告 1: 升本潔・平沼光・中村洋「飯田市の社会イノベーションとこれから」 (15:30～15:50) 報告 2: 鈴木政史・島田剛・李洸昊「掛川市の社会イノベーションとこれから」 (15:50～16:10) 報告 3: 黒川哲志・岩田優子「豊岡市の社会イノベーションとこれから」 (16:10～16:20) 討論者 1: 飯田市関係者（牧野市長、萩本範文、関重夫、原亮弘、市役所関係者） (16:20～16:30) 討論者 2: 掛川市関係者（榛村元市長（?）、松井市長（?）） (16:30～16:40) 討論者 3: 豊岡市関係者（中貝市長（?）） (討論者は森口祐一：東京大学・古木二郎：三菱総研も候補)
16:40～17:30	総合討論
17:30	閉会

WS プログラムの作成:

10 月下旬まで：プログラムの方向性を財団に提示

11/18（土）第 10 回研究会で最終案の検討

11/24（金）までに、プログラム確定（登壇者とスケジュール、後援の決定）

12 月上旬：リーフレット印刷（12/10 までに納品）

2. 今後の予定

11/18(土) 14時: 第10回研究会:WSの企画確定、書籍目次案の再構成

11/24(金)まで: WSの確定企画を日生財団へ連絡

2018年

1/20(土) 午後: 第11回研究会:WS報告の検討

2/4(日)午後: WSの開催@早稲田大学

春休み 最終原稿の執筆

3/31(土) 最終原稿〆

7月下旬 出版社へ完成原稿渡し

9・10月 校正作業

12月上旬 出版

	2017(H29) 9	10	11	12	2018(H30) 1	2	3	4~6	7~12
研究	第9回研究会(9/30)	第10回研究会(11/18)	第11回研究会(1/20)						
	研究期間終了(9/30)		最終研究報告提出〆切(12/8)						
WS			日時・会場・プログラム確定(11/24)		WS開催(2/4)				
				当日資料原稿〆切(1/19)					
			リーフレット納品募集開始(12/10まで)						
					当日資料原稿〆切(1月下旬)				
書籍出版						最終稿〆切(3/31)	校正作業(9・10月)		
	第一稿〆切	研究会にて各分担部分の発表・議論					出版社への完成原稿渡し(7月下旬)		
			申請書提出〆切(12/8)	助成決定(3月上~中旬)		覚書締結(8月下旬)	出版(12月上旬)		

以上